

# 道内の感染状況等について

【令和4年7月29日】

# 主な指標の状況

		移行指標				その他指標		
7/28	レベル	病床 使用率	重症病床 使用率	10万人当たり 新規 感染者数	10万人当たり 療養者数	新規 感染者数 今週 先週比	感染経路 不明割合 (注)	PCR 陽性率 (注)
全道	2	24.2% (539床) ↑	2.1% (3床) →	592.9人/週 (30999人/週) ↑	679.8人 (35546人) ↑	2.18 ↑	55.5% ↓	51.8% ↑
札幌市	2	33.3% (242床) ↑	0.0% (0床) →	704.9人/週 (13828人/週) ↑	784.1人 (15380人) ↑	2.19 ↑	58.0% ↓	60.9% ↑
札幌市を 除く地域	2	19.8% (297床) ↑	3.3% (3床) →	525.6人/週 (17171人/週) ↑	617.2人 (20166人) ↑	2.17 ↑	53.4% ↓	46.3% ↑
レベル2 移行指標		20%	又は 20%	15人/週	20人			
レベル3 移行指標		50%	又は 50%	—	—			

※( )は実数。

※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較。

(注) 現在、高齢者施設や同居家族などに疫学調査を重点化していることから、結果として、感染経路不明割合、PCR陽性率は高い数値となる可能性がある。



# 総評 ①

## 【全国の場合】

- 全国では、新規感染者数が連続で過去最多を更新し、病床使用率も大きく増加する中、北海道は、他の都府県と比較するといずれも低い状況にある。国の専門家からは、全国的にこれまでに最も高い感染レベルを更新し続け、今後過去最多を更新していくことも予測される、と指摘されている。

※参考:7月28日、新規感染者数先週比 東京1.66、大阪1.61、福岡1.71、沖縄1.27(北海道調べ)

## 【医療提供体制】

- 療養者数は増加傾向となっており、人口10万人当たりで679.8人。病床使用率についても、増加傾向となっており24.2%。札幌市は33.3%となっている。また、重症病症使用率は、低い水準で推移しており、2.1%となっている。

## 【感染状況】

- 新規感染者数は、人口10万人当たりでは592.9人。先週比が2倍を超える日が続き、7月26日には、これまでの最多であった本年2月の467.8人を上回った。年代別では、引き続き30代以下の割合が約6割となっている。特に20代の感染者が増加し、割合も増加している状況にある。
- オミクロン株の派生株については、札幌市で新たにBA.5系統が23件、札幌市を除く地域で17件検出され、道内ではこれまでBA.5系統71件を含む80件が検出されている。国の専門家からは、流行の主流がBA.2系統からBA.5系統に置き換わったと推定される、と指摘されている。

# 総評 ②

## 【今後の対策】

- 全道の新規感染者数が過去最多を更新する中、国の専門家の指摘を踏まえると、今後も感染拡大傾向が継続することが見込まれる。社会経済活動をできる限り維持していくため、これまで整備してきた保健・医療提供体制を十分に機能させながら、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方を感染から守ることに重点を置き、取組を進める。
- 国は、濃厚接触者の待機期間の短縮について、7月22日に通知を発出した。これを踏まえ、道としては同様の取扱いとすることとし、速やかに保健所や関係機関に通知をした。
- 入院患者の増加に対応するため、8月1日から即応病床のフェーズを2に引き上げる。
- 道内の保健・医療提供体制は、現時点でひっ迫している状況にはないが、感染が拡大する中、発熱外来への負担が増加しているほか、医療機関では、集団感染が発生している。また、感染拡大に伴い、保健所の業務負担が増加していることから、健康観察業務の民間委託を大幅に拡大し、現在23保健所で実施している。今後、早期に全26保健所での民間委託の実施を目指す。 ～スライド⑥、⑦参照
- 医療の負荷に直結する、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方、また、そうした方々と会う方の双方が、基本的な感染防止行動である3つの行動を徹底するよう働きかける。また、高齢者等に会う際には、検査による陰性確認などを行うよう、呼びかける。

## 総評 ③

- 高齢者施設等における感染拡大を防いでいくため、地域の感染拡大の状況に応じ、職員に対する頻回検査を実施するよう調整を進める。
- 道民の皆様に、これまで呼びかけてきた3つの行動について、引き続き、実践を呼びかけるとともに、特に夏休みシーズンに、注意が必要となる場面や場所における実践について、分かりやすく呼びかけを行う。
- 誰もが感染する可能性が高まる中、万が一の感染に備え、準備すべき解熱剤や必要な生活物資等について、家族で話し合うなど、あらかじめ用意するよう呼びかける。また、道としては、自宅で療養される方への自宅療養セットの早期配送に、引き続き、努めていく。
- 重症化リスクの高い高齢者などの4回目接種、若年層の3回目接種を積極的に検討いただけるよう、北海道ワクチン接種センターの活用や、多様な媒体を活用した広報の展開による呼びかけを進める。
- 4回目接種については、7月22日に医療従事者等に対象が拡大されたことから、道の接種センターにおいても次の接種日となる7月30日から実施することとし、7月28日に予約受付を開始した。また、道内市町村においても、円滑な接種を実施できるよう、必要なワクチンの配分調整や接種券の発行手続等の情報提供など、積極的な支援に努める。
- ノババックスワクチンの接種については、新たに札幌市が、8月から接種を開始することとなった。引き続き、より多くの市町村で接種が受けられるよう、調整を進める。また、7月22日から対象者が12歳以上に拡大されたことから、道の接種センターにおいても、次回予約受付を行う8月21日分から実施することとし、8月2日に予約受付を開始する。

# 保健・医療提供体制確保の取組

※対応：○＝対応済 ㊦＝継続して対応中のもの

区分	対応	現 状 等
検 査	<p>㊦</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検査需要の増加に対応するため、引き続き、今般の診療報酬上の特例措置の延長を周知の上、診療・検査医療機関の拡充に向けた働きかけを行う。また、検査機関の負担を軽減するため、抗原定性検査キットの確保や配布について、効率的な手法を検討する。</li> <li>無料検査事業では、早期に検査キットの発注を行うよう、検査事業所に通知を行ってきたところであり、現時点での不足は生じていない。 ※お盆期間等の主要な駅や空港等での受検については、新たな実施箇所の追加や様々な媒体を活用した広報展開を行う。</li> </ul>
外 来 (相談 センター)	<p>○</p> <p>㊦</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道の健康相談センターへの相談件数が、大幅に増加していることから、センターの人員や回線を増強し、対応力を強化した。</li> <li>発熱外来を開設する医療機関の負担が増加してきていることから、重症化リスクが低いと考えられる有症状者に対し、受診に代えて抗原定性検査キットを配布する体制について、検討を進めている。</li> </ul>
自宅療養	<p>○</p> <p>○</p> <p>㊦</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康観察業務に必要なパルスオキシメーターを十分に確保するとともに、配送業務についても、迅速な配付のため、民間委託により対応している。</li> <li>自宅療養セットについては、オミクロン株の特性を踏まえた国の取扱いや療養実態を踏まえ、内容量の見直しを実施。</li> <li>今後の感染急拡大に対応するため、必要な方に速やかに自宅療養セットを届けられるよう、効率的な配送手法について事業者と調整を進める。</li> </ul>



# 保健・医療提供体制確保の取組②

区分	対応	現状等
宿泊療養	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>療養者の更なる増加に備え、療養体制や施設運営に支障が生じないよう、現施設の契約期間を延長した。引き続き、契約終了後の施設確保も含め、調整を進める。</li> </ul>
入院	○ ③ ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染の急拡大に伴い、入院患者が増加し、病床使用率が高い地域もあるなど、医療提供体制への支障が危惧され始めている中、今後の更なる入院患者の増加に備え、8月1日から即応病床のフェーズを2に引き上げることとし、関係機関に通知した。</li> <li>今後の病床使用率の増加も見据え、引き続き、必要な病床の確保や体制の整備について、医師会や医療機関等と協議を進める。</li> <li>医療機関における集団感染などにより、医療従事者の感染者や濃厚接触者が増加していることから、適時状況の把握に努める。</li> </ul>
保健所業務	○ ③ ③	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務負担が増加する中、健康観察業務の民間委託を大幅に拡大し、23保健所で実施中。</li> <li>この民間委託については、今後早期に全26保健所での実施を目指す。</li> <li>会計年度任用職員の確保や振興局からの応援体制の整備に取り組んできたところであり、今後の感染拡大も見据え、引き続き体制の拡充に取り組む。</li> </ul>
ワクチン	③	<ul style="list-style-type: none"> <li>国においては、7月、8月を「ワクチン推進強化月間」とし、広報活動を強化しており、道としても、接種の促進に向けた広報の展開や市町村への支援に努める。</li> </ul>
(その他) 飲食店・ 観光事業者	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会経済活動の維持に当たっては、感染防止対策が重要となることから、第三者認証店をはじめとした飲食店や観光事業者等に対し、感染防止対策の徹底等について依頼した。</li> </ul>



# 入院患者数と病床使用率（全道）

入院患者数（人）

病床使用率

1,400

100%

1,200

90%

1,000

80%

800

70%

600

60%

400

50%

200

40%

0

30%

20%

10%

0%

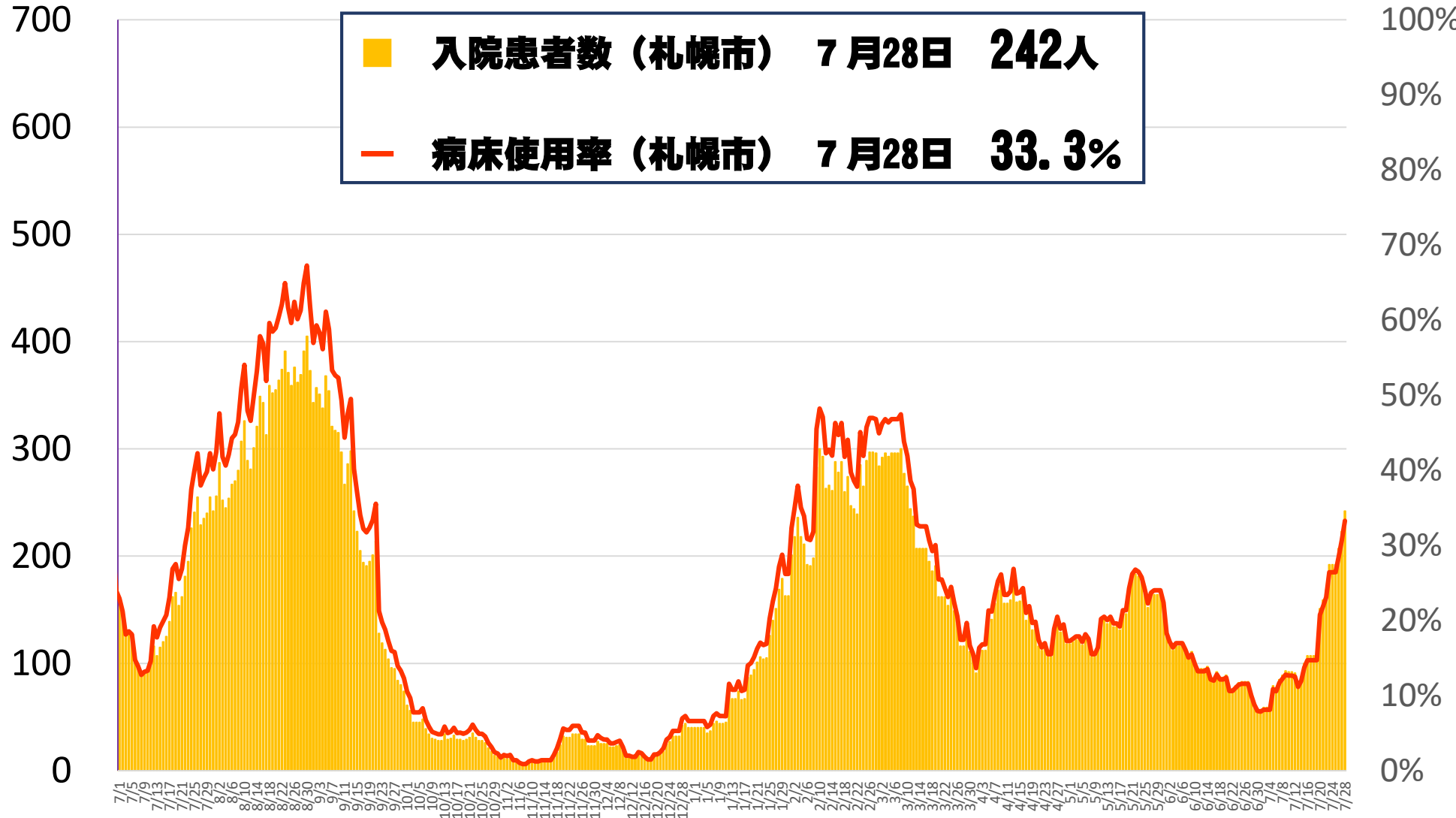
■ 入院患者数（全道） 7月28日 539人  
— 病床使用率（全道） 7月28日 24.2%

7/15 7/19 7/23 7/27 7/31 8/4 8/8 8/12 8/16 8/20 8/24 8/28 9/1 9/5 9/9 9/13 9/17 9/21 9/25 9/29 10/3 10/7 10/11 10/15 10/19 10/23 10/27 11/1 11/5 11/9 11/13 11/17 11/21 11/25 11/29 12/3 12/7 12/11 12/15 12/19 12/23 12/27 1/1 1/5 1/9 1/13 1/17 1/21 1/25 1/29 2/2 2/6 2/10 2/14 2/18 2/22 2/26 2/30 3/5 3/9 3/13 3/17 3/21 3/25 3/29 4/2 4/6 4/10 4/14 4/18 4/22 4/26 4/30 5/4 5/8 5/12 5/16 5/20 5/24 5/28 6/1 6/5 6/9 6/13 6/17 6/21 6/25 6/29 7/3 7/7 7/11 7/15 7/19 7/23 7/27 7/31

# 入院患者数と病床使用率（札幌市）

入院患者数（人）

病床使用率



# 入院患者数と病床使用率（札幌市を除く地域）

入院患者数（人）

700

600

500

400

300

200

100

0

■ **入院患者数（札幌市を除く地域）** 7月28日 **297人**  
— **病床使用率（札幌市を除く地域）** 7月28日 **19.8%**

病床使用率

100%

90%

80%

70%

60%

50%

40%

30%

20%

10%

0%

7/15 7/19 7/23 7/27 7/31 8/4 8/8 8/12 8/16 8/20 8/24 8/28 9/1 9/5 9/9 9/13 9/17 9/21 9/25 9/29 10/3 10/7 10/11 10/15 10/19 10/23 10/27 11/1 11/5 11/9 11/13 11/17 11/21 11/25 11/29 12/3 12/7 12/11 12/15 12/19 12/23 12/27 1/1 1/5 1/9 1/13 1/17 1/21 1/25 1/29 2/2 2/6 2/10 2/14 2/18 2/22 2/26 3/1 3/5 3/9 3/13 3/17 3/21 3/25 3/29 4/2 4/6 4/10 4/14 4/18 4/22 4/26 5/1 5/5 5/9 5/13 5/17 5/21 5/25 5/29 6/2 6/6 6/10 6/14 6/18 6/22 6/26 7/1 7/5 7/9 7/13 7/17 7/21 7/25 7/28

# 重症者数と重症病床使用率（全道）

重症者数（人）

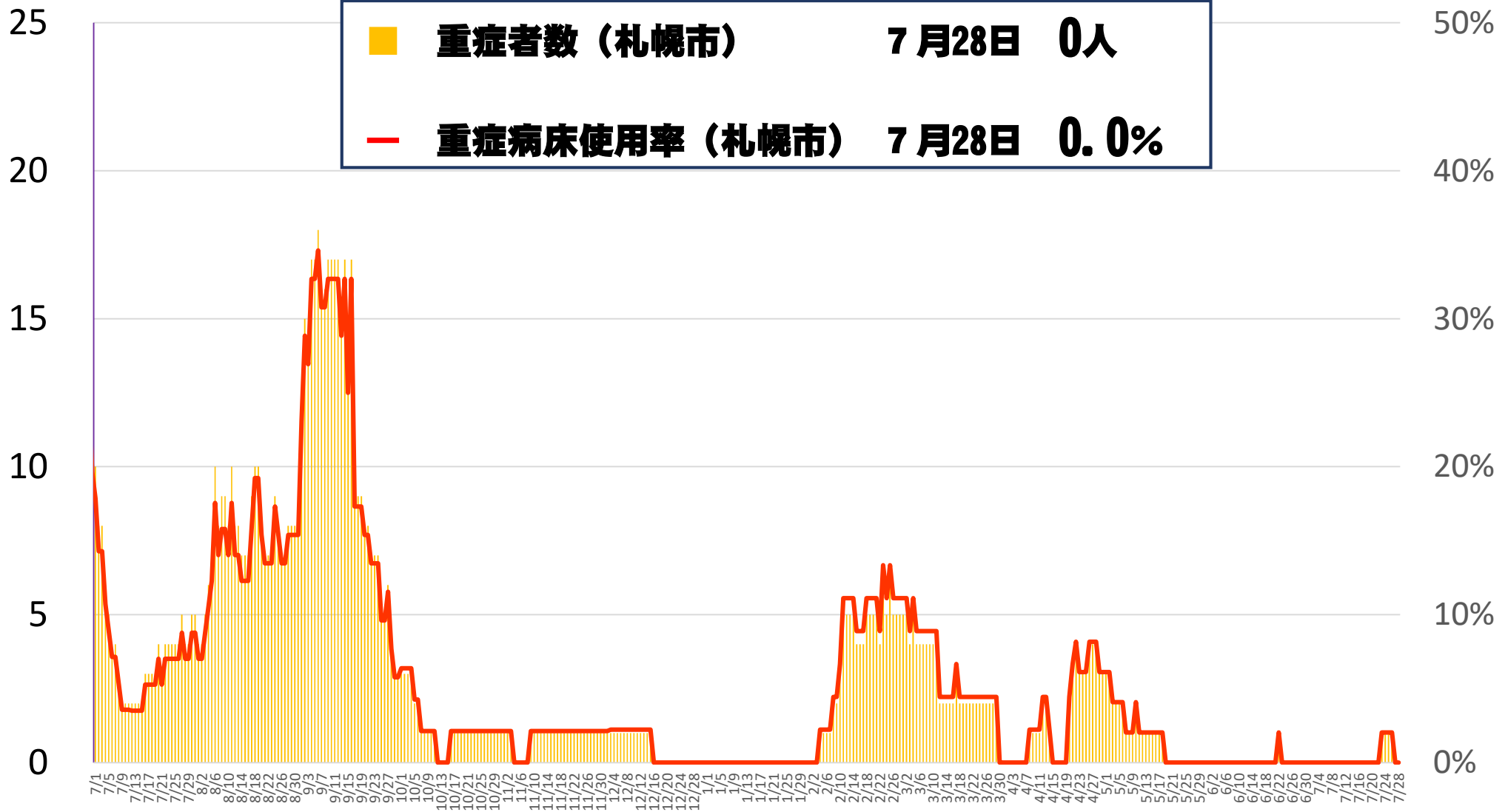
病床使用率



# 重症者数と重症病床使用率（札幌市）

重症者数（人）

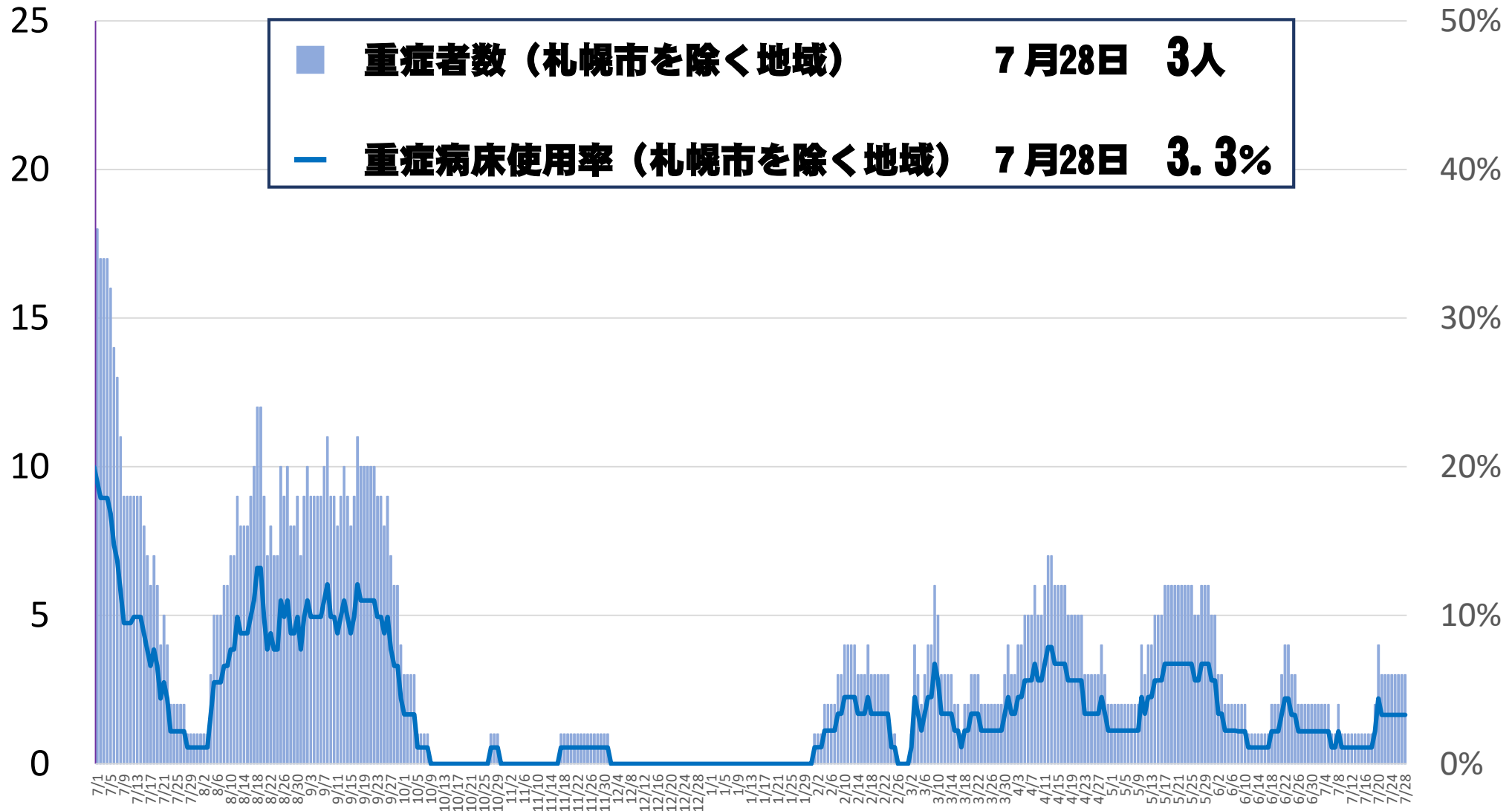
病床使用率



# 重症者数と重症病床使用率（札幌市を除く地域）

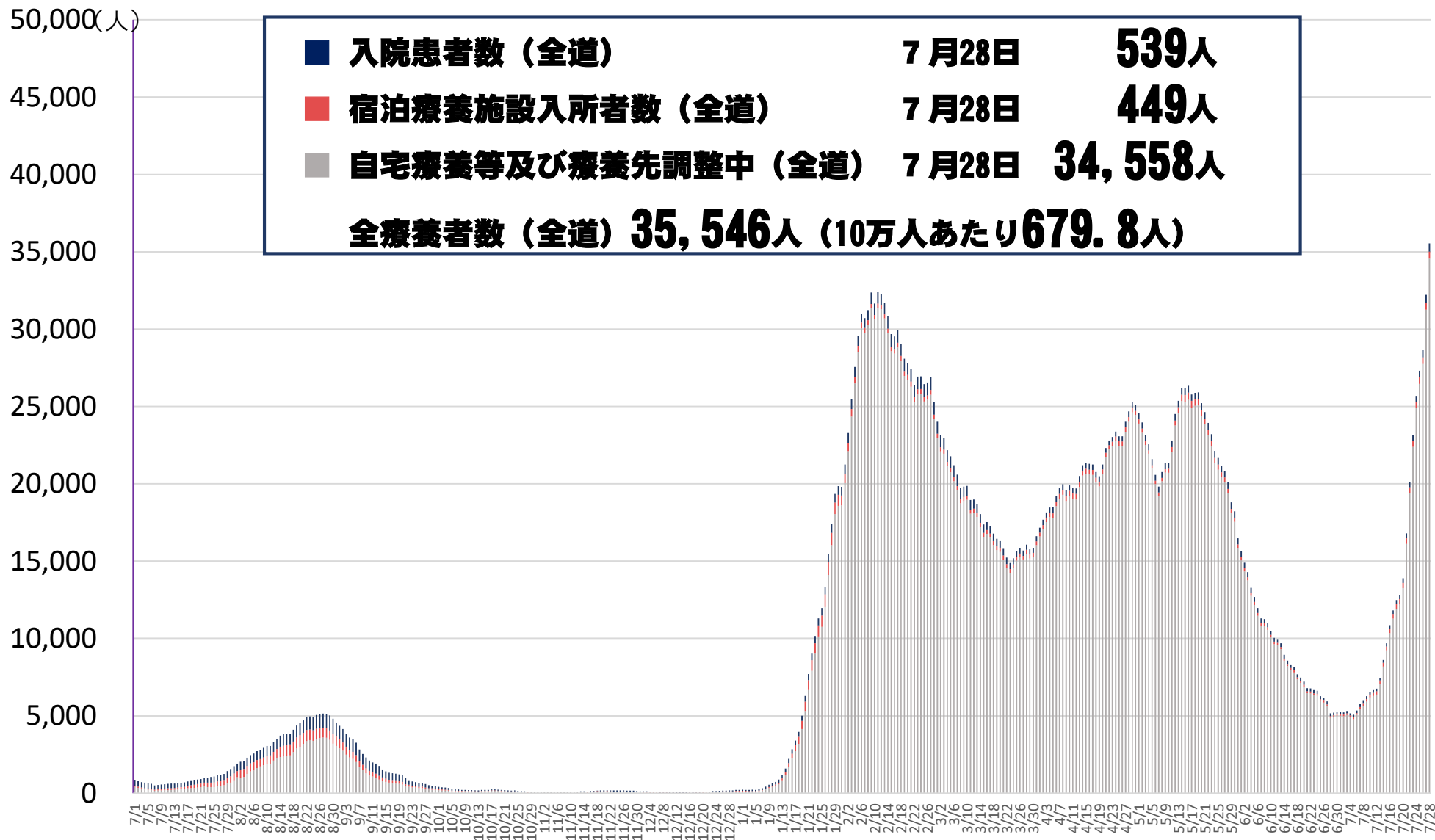
重症者数（人）

病床使用率

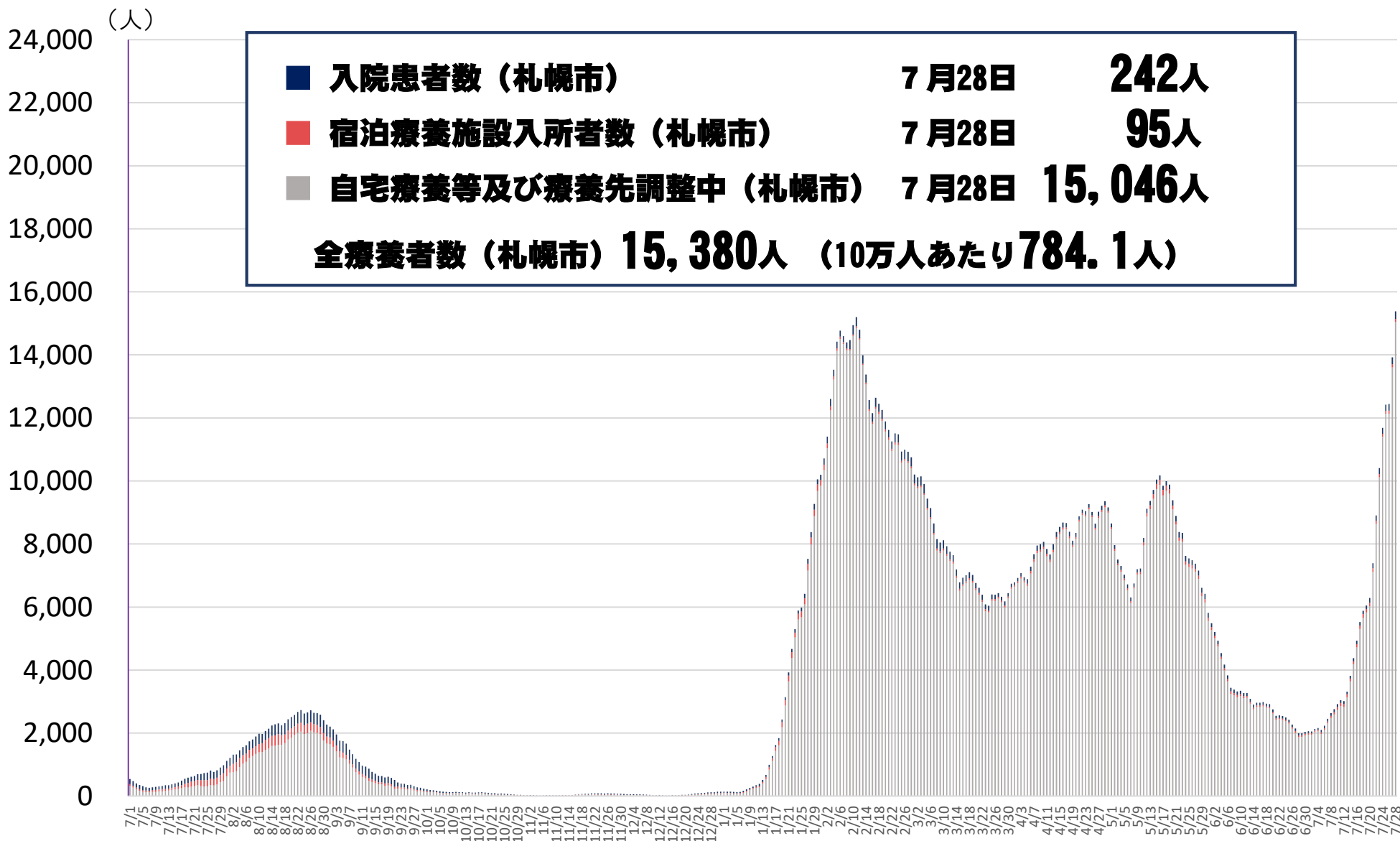




# 療養者数（全道）

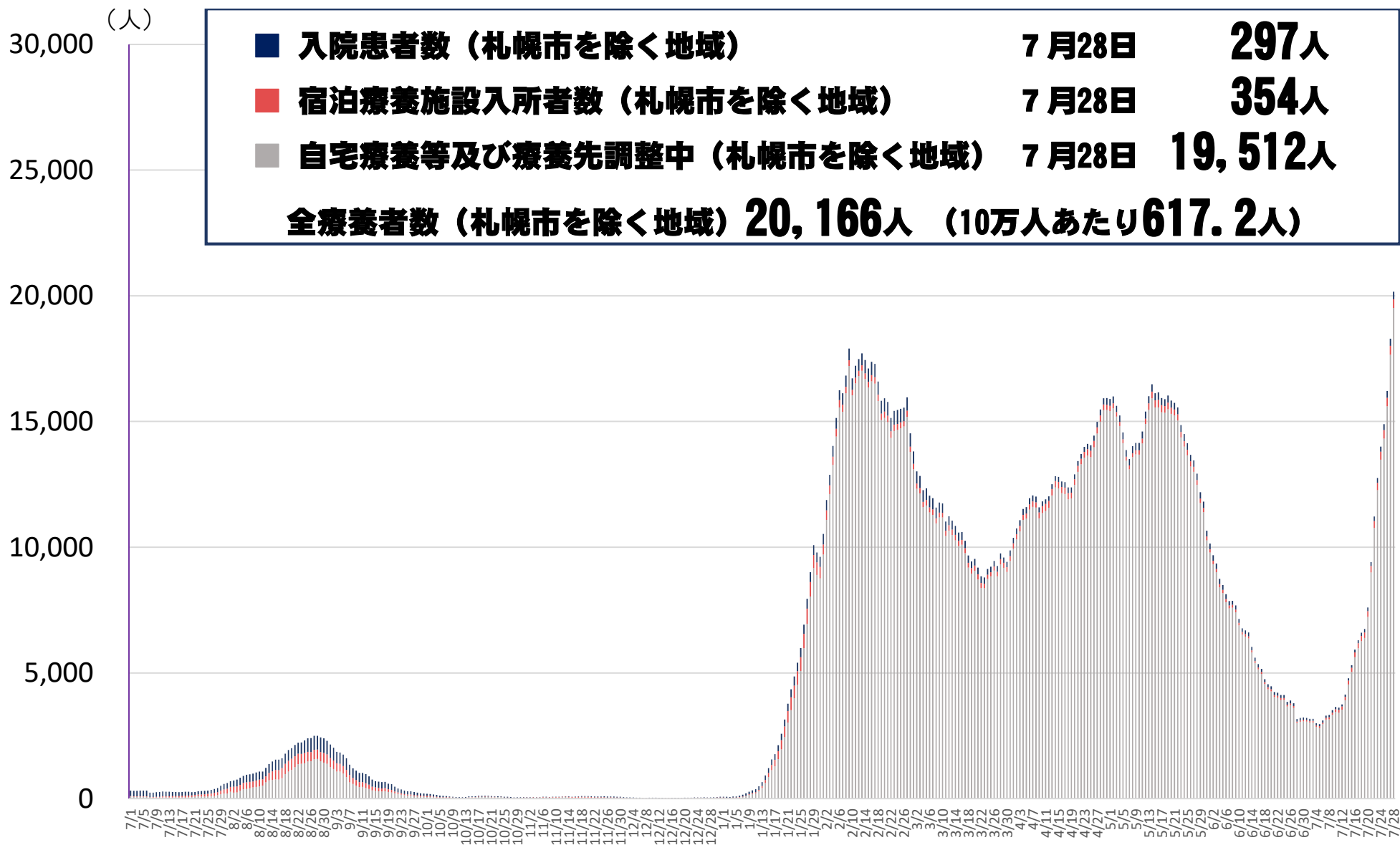


# 療養者数（札幌市）



※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。

# 療養者数（札幌市を除く地域）



※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。

# 新規感染者数と感染経路不明割合（全道）

新規感染者数(人)  
(7日間合計)

感染経路不明割合  
(7日間平均)

35,000

■ **新規感染者数（全道）** 7月28日 **30,999人**（10万人あたり**592.9人**）

100%

30,000

— **感染経路不明割合（全道）** 7月28日 **55.5%**

90%

25,000

80%

20,000

70%

15,000

60%

10,000

50%

5,000

40%

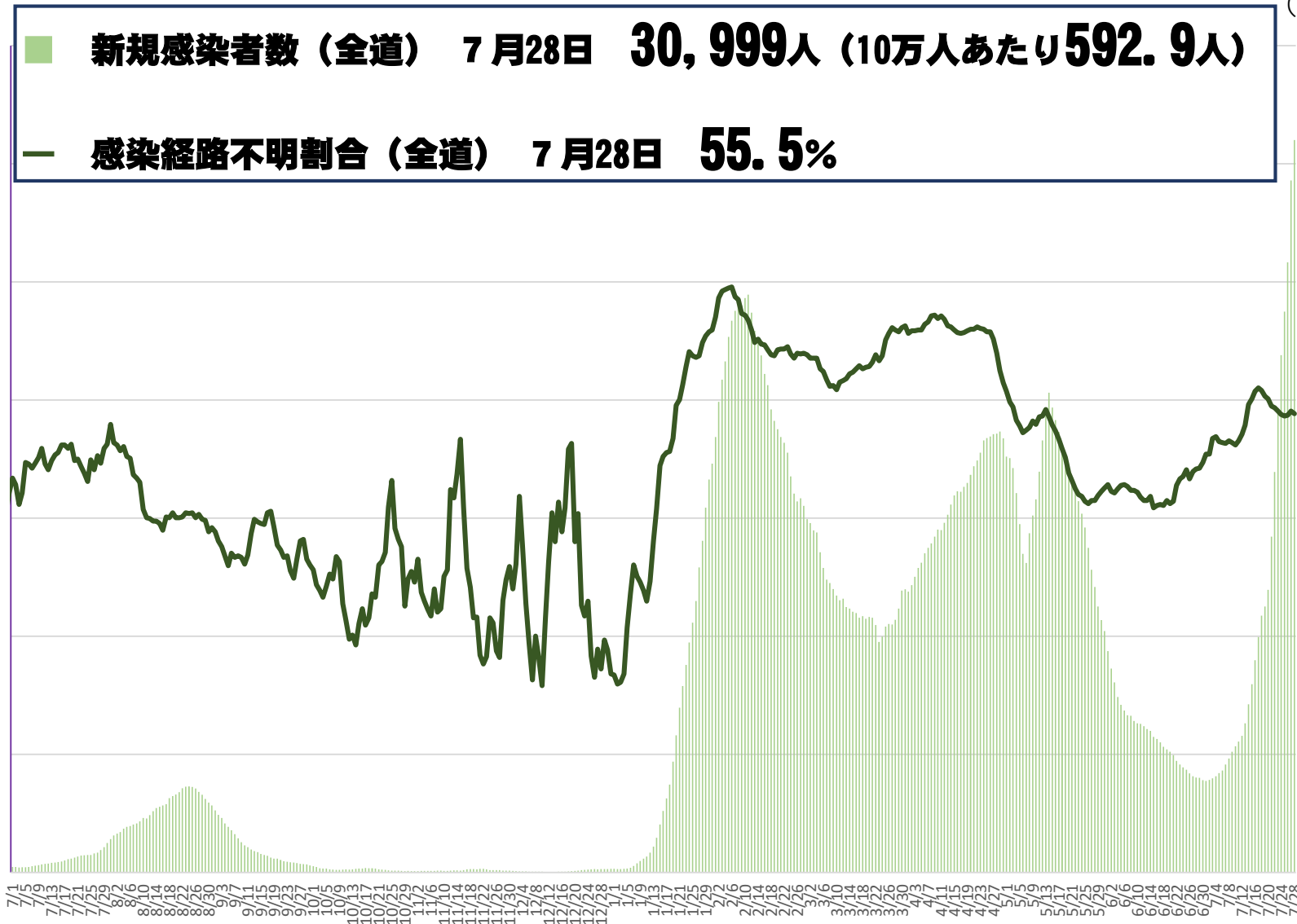
0

30%

20%

10%

0%



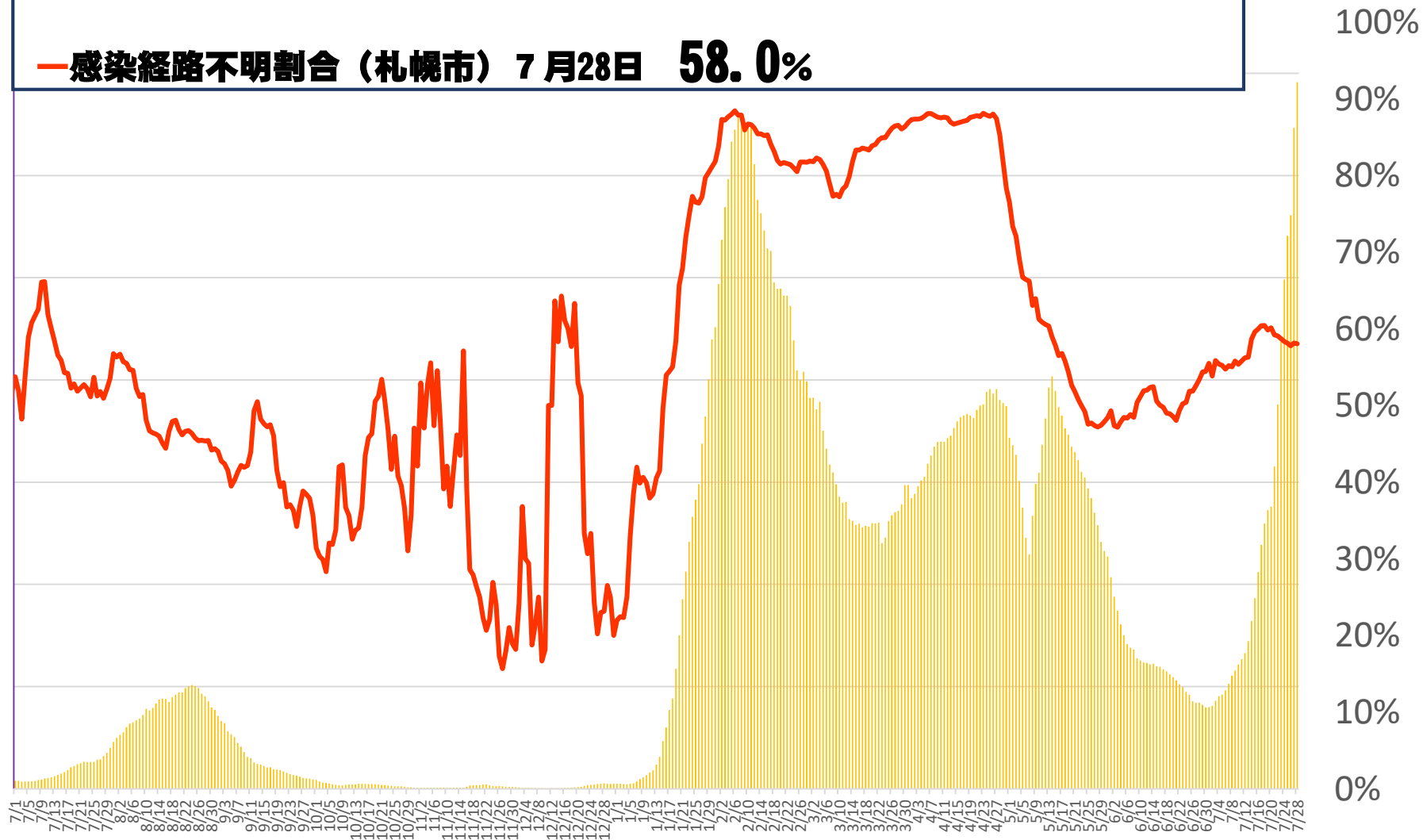
# 新規感染者数と感染経路不明割合（札幌市）

新規感染者数  
(7日間合計)  
(人)

■ **新規感染者数（札幌市） 7月28日 13,828人（10万人あたり704.9人）**

— **感染経路不明割合（札幌市） 7月28日 58.0%**

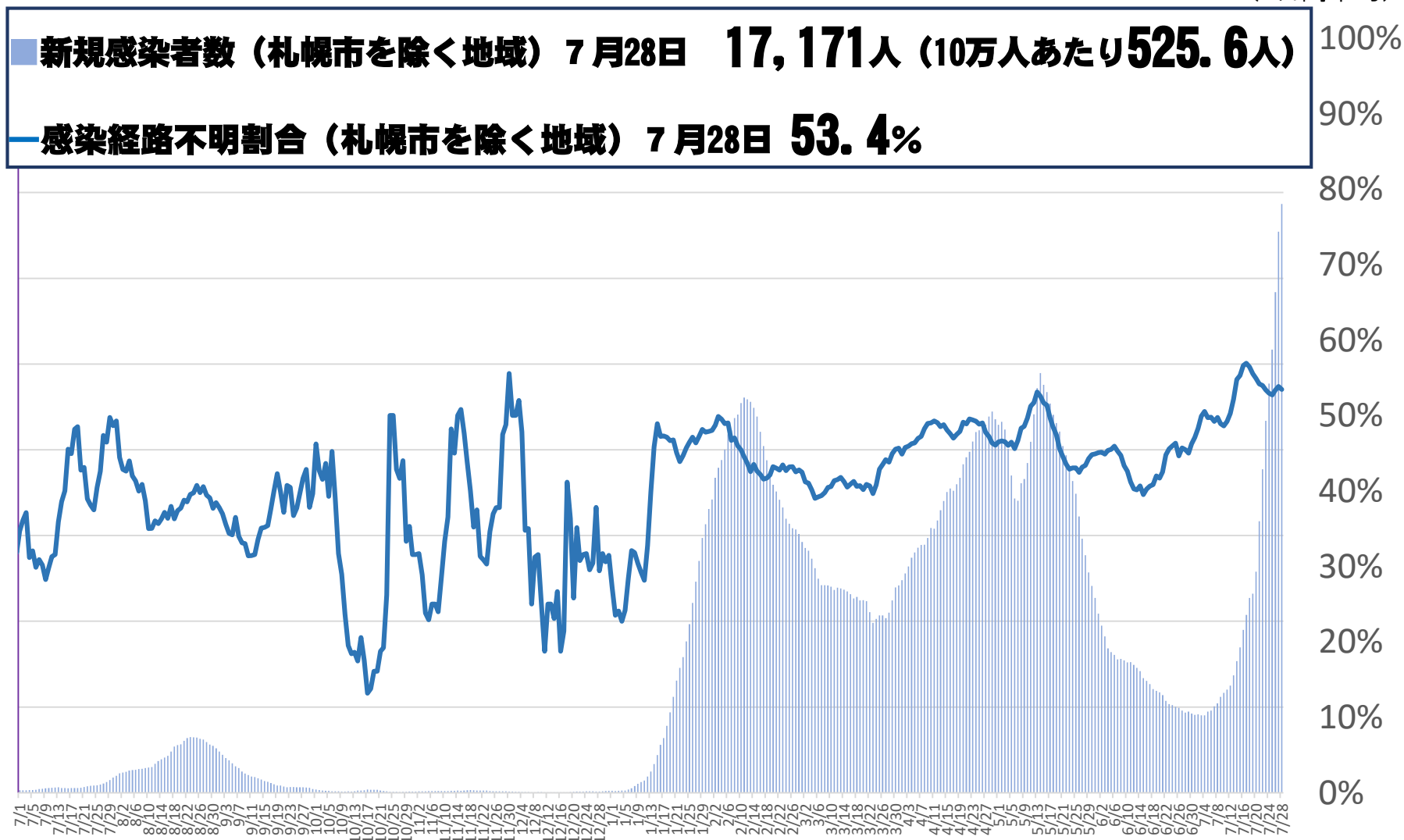
感染経路不明割合  
(7日間平均)



# 新規感染者数と感染経路不明割合（札幌市を除く地域）

新規感染者数(人)  
(7日間合計)

感染経路不明割合  
(7日間平均)





# 検査数と陽性率（全道）

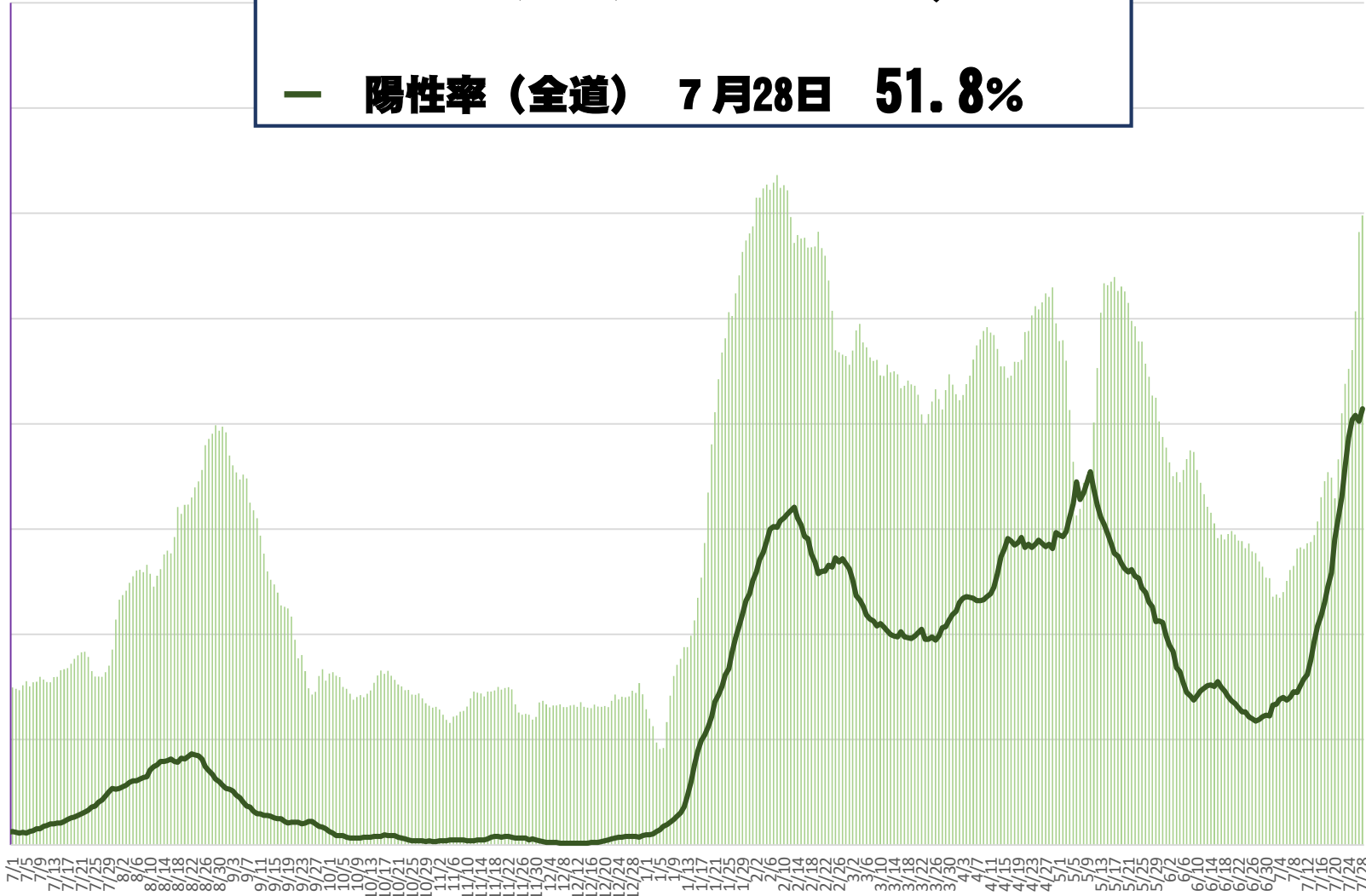
検査数（人）  
（7日間合計）

陽性率  
（7日間平均）

80,000  
70,000  
60,000  
50,000  
40,000  
30,000  
20,000  
10,000  
0

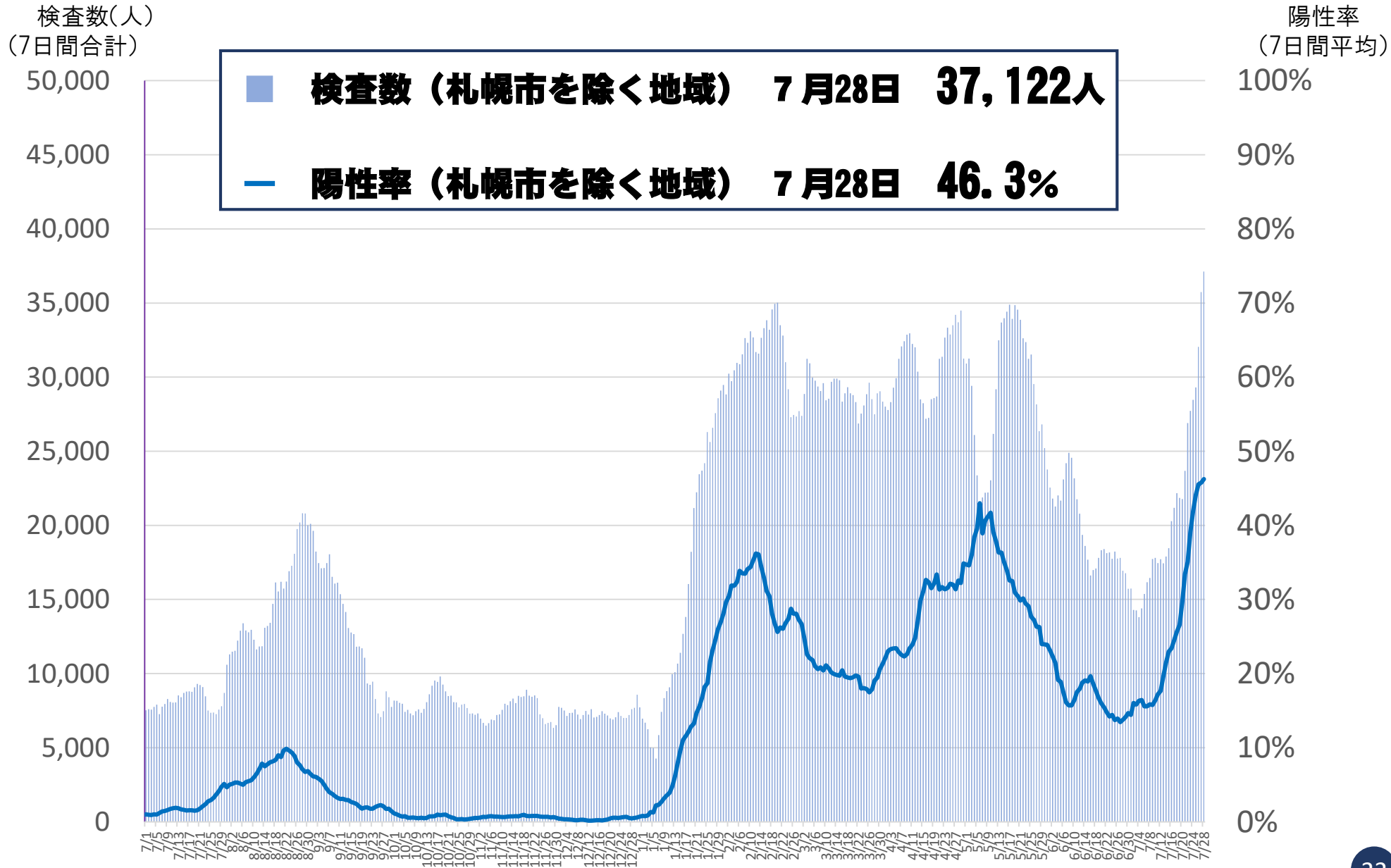
■ **検査数（全道）** 7月28日 **59,811人**  
— **陽性率（全道）** 7月28日 **51.8%**

100%  
90%  
80%  
70%  
60%  
50%  
40%  
30%  
20%  
10%  
0%





# 検査数と陽性率（札幌市を除く地域）



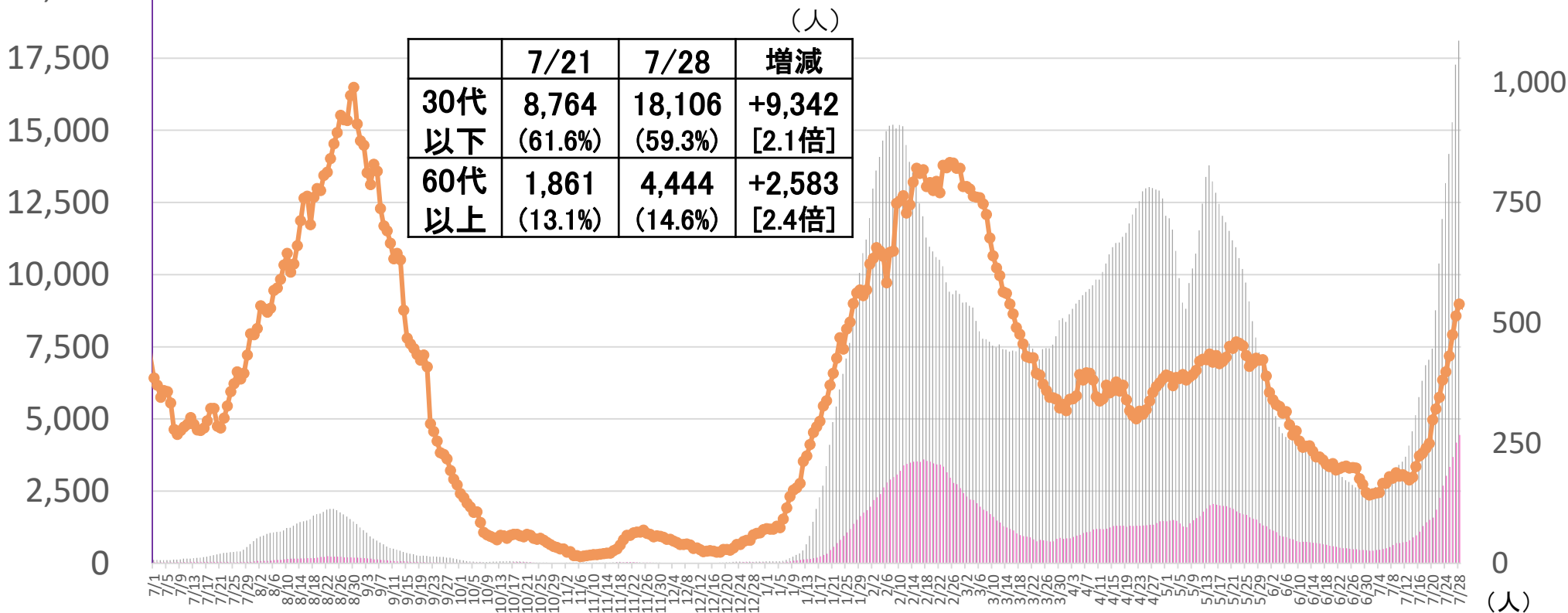
# 年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(全道)

新規感染者数(人)  
(7日間合計)

入院患者数  
(人)

■	<b>30代以下の新規感染者数(全道)</b>	<b>7月28日</b>	<b>18,106人</b>
■	<b>60代以上の新規感染者数(全道)</b>	<b>7月28日</b>	<b>4,444人</b>
—	<b>入院患者数(全道)</b>	<b>7月28日</b>	<b>539人</b>

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(参考)

	7/21	7/28	増減
10代	2,214	4,094	+1,880 [1.8倍]
20代	2,382	5,154	+2,772 [2.2倍]

(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

# 年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市)

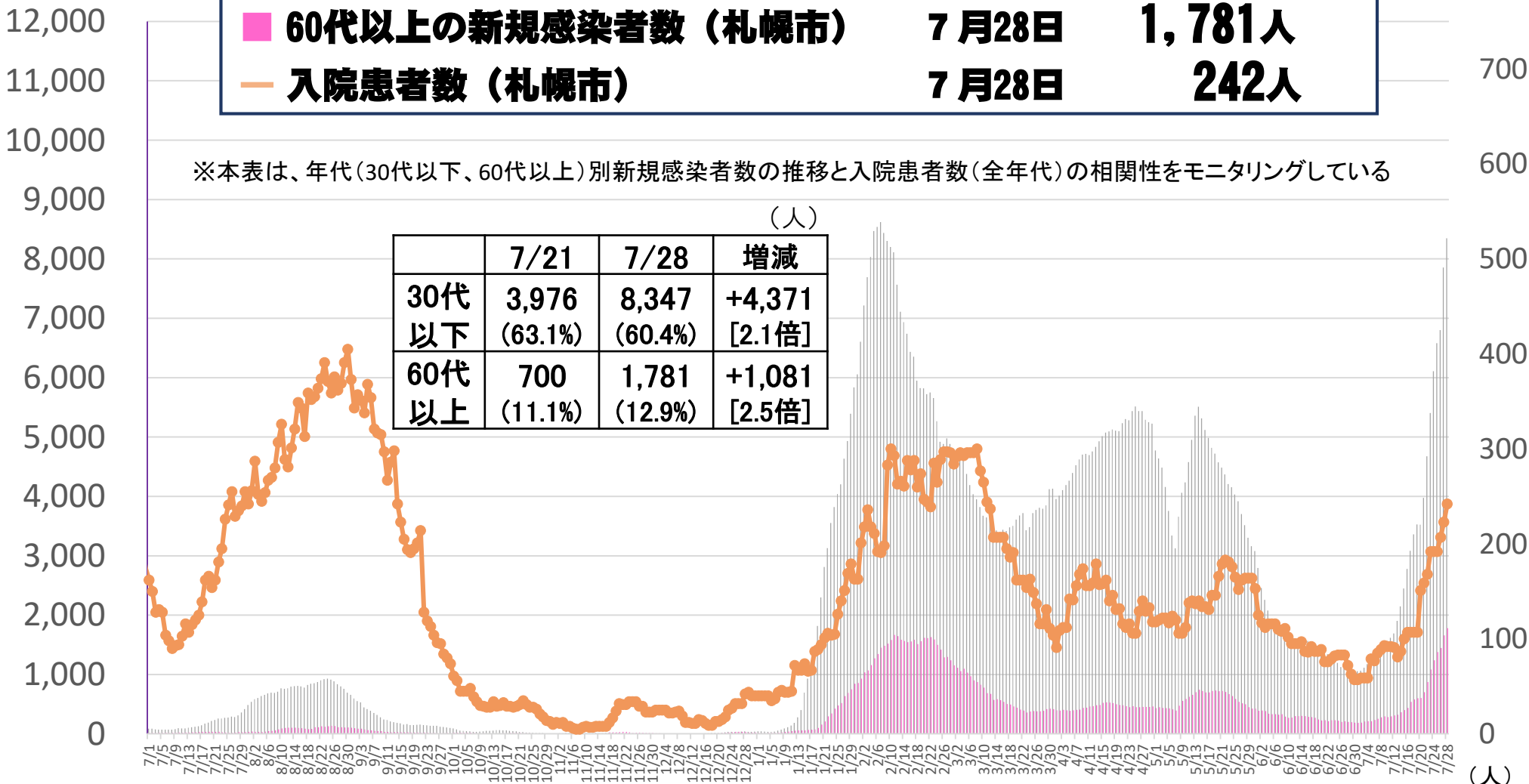
新規感染者数(人)  
(7日間合計)

■ **30代以下の新規感染者数(札幌市)**  
 ■ **60代以上の新規感染者数(札幌市)**  
 — **入院患者数(札幌市)**

**7月28日 8,347人**  
**7月28日 1,781人**  
**7月28日 242人**

入院患者数  
(人)

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(参考)

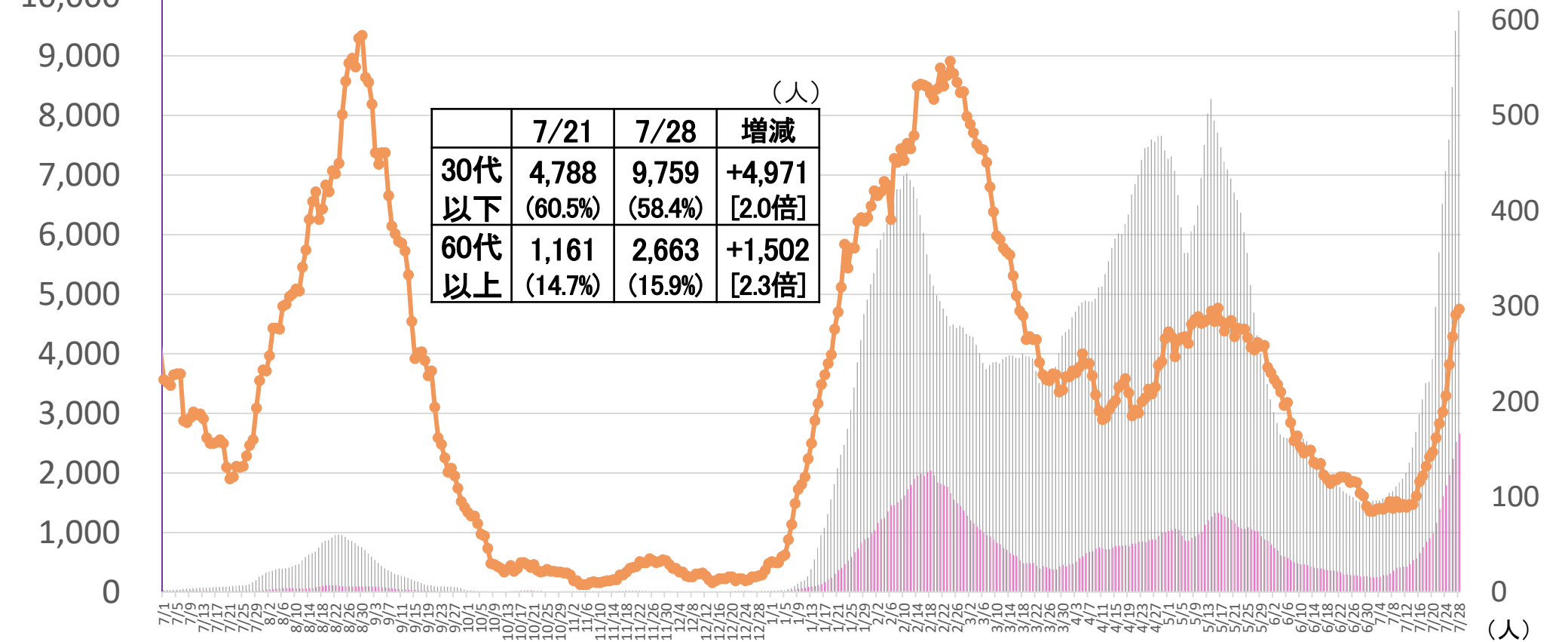
	7/21	7/28	増減
10代	1,002	1,767	+765 [1.8倍]
20代	1,195	2,674	+1,479 [2.2倍]

(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

# 年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市を除く地域)

■	<b>30代以下の新規感染者数(札幌市を除く地域)</b>	<b>7月28日</b>	<b>9,759人</b>
■	<b>60代以上の新規感染者数(札幌市を除く地域)</b>	<b>7月28日</b>	<b>2,663人</b>
—	<b>入院患者数(札幌市を除く地域)</b>	<b>7月28日</b>	<b>297人</b>

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(参考)

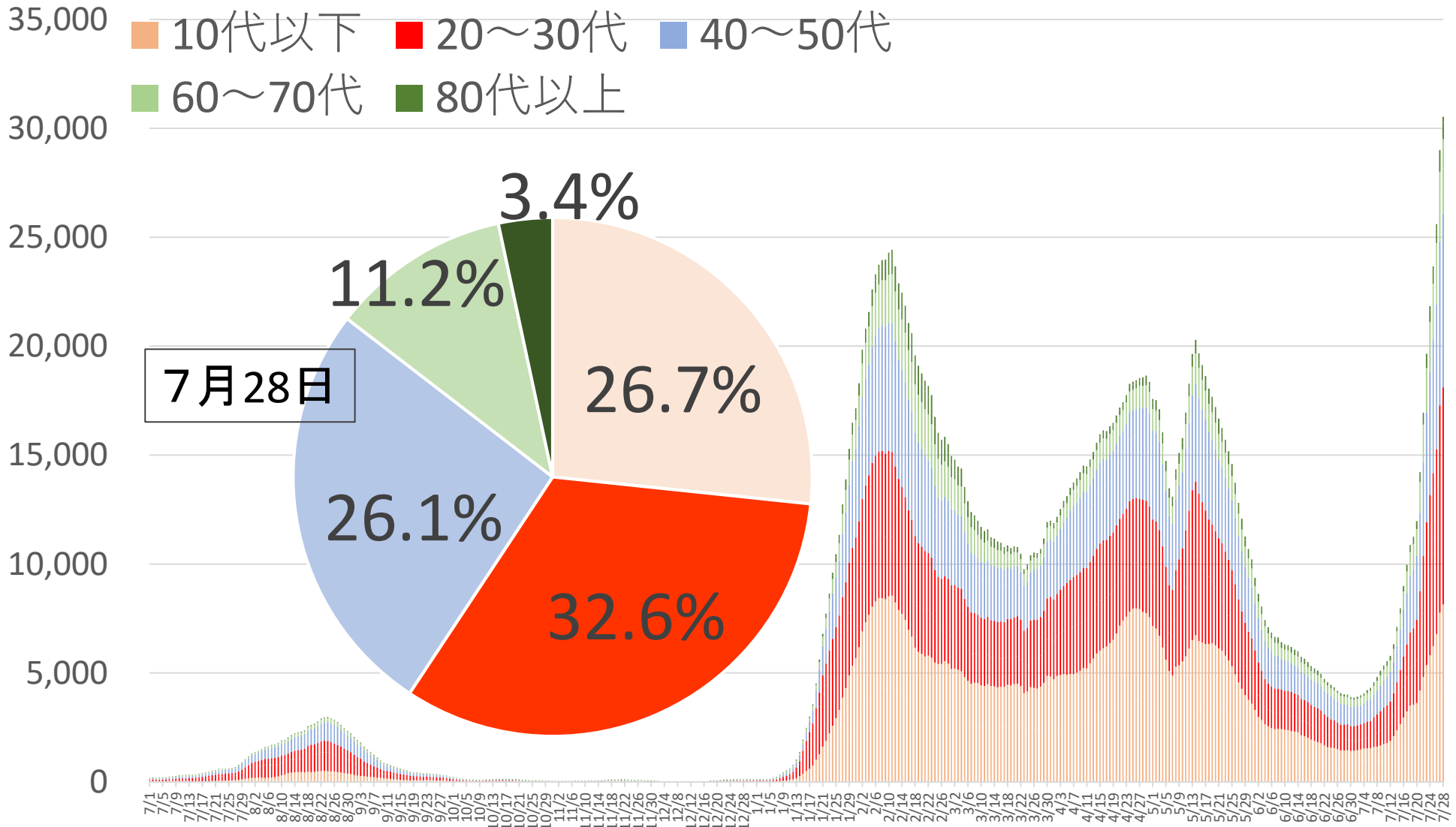
	7/21	7/28	増減
10代	1,212	2,327	+1,115 [1.9倍]
20代	1,187	2,480	+1,293 [2.1倍]

(新規感染者のうち年齢公表分を集計)



# 年代別新規感染者割合と推移(全道)

感染者数(人)  
(7日間合計)



7月28日

(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

# 集団感染の発生状況(医療施設・福祉施設)

	7/8~14			7/15~21			7/22~28		
	合 計			合 計			合 計		
		医療施設	福祉施設		医療施設	福祉施設		医療施設	福祉施設
全 道	11件 (292人)	4件 (166人)	7件 (126人)	26件 (407人)	13件 (214人)	13件 (193人)	70件 (786人)	22件 (294人)	48件 (492人)
札幌市	2件 (18人)	—	2件 (18人)	9件 (83人)	3件 (24人)	6件 (59人)	24件 (202人)	3件 (23人)	21件 (179人)
札幌市を 除く地域	9件 (274人)	4件 (166人)	5件 (108人)	17件 (324人)	10件 (190人)	7件 (134人)	46件 (584人)	19件 (271人)	27件 (313人)

# 新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

## 1 ワクチン接種状況(医療従事者等分を含む。7/27現在)

### <3回目接種の状況>

区分	3回目	
	接種者数	接種率
北海道	3,403,143	65.1%
うち65歳以上	1,505,292	90.2%
(参考)全国	79,489,144	62.7%
うち65歳以上	32,283,827	90.3%

### <4回目接種の状況>

区分	4回目	
	接種者数	接種率
北海道	374,070	—
うち60歳以上	361,947	18.0%
(参考)全国	9,696,549	—
うち60歳以上	9,443,642	21.9%

### <1・2回目接種の状況 ※全年代(5歳以上11歳以下の小児への接種分を含む)>

区分	1回目		2回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	4,324,752	82.7%	4,261,809	81.5%
うち小児	56,191	20.5%	51,886	19.0%
(参考)全国	103,862,075	82.0%	102,453,394	80.9%
うち小児	1,347,142	18.2%	1,242,310	16.8%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力の場合接種率は含まない)。

また、1・2回目接種における医療従事者等は首相官邸HP公表値による、実際の接種率より低い場合等があることに留意。

# 新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

## 2 年齢区分別接種状況(医療従事者等分を含む。7/27現在)

### <3回目接種の状況>

区分	道内の接種 対象人口 (対全人口構成比)	道内の接種率	(参考) 全国の接種率 (7/24現在)
		3回目	3回目
12～19歳	344,145 (6.6%)	34.0%	33.2%
20～29歳	461,395 (8.8%)	49.5%	47.4%
30～39歳	545,877 (10.4%)	51.7%	51.1%
40～49歳	733,566 (14.0%)	60.4%	59.9%
50～59歳	697,270 (13.3%)	76.1%	77.2%
60～64歳	338,612 (6.5%)	82.9%	83.5%
65歳以上	1,668,858 (31.9%)	90.2%	90.2%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の各年齢区分別人口に対する割合(医療従事者等の接種回数を含む。国接種率は首相官邸HP、道接種率は国の「ワクチン接種状況ダッシュボード」による。)。なお、上記はVRSの入力値に基づくものであり、実際の接種率より低い場合があることに留意。

# 新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

## 3 ワクチンの種類と接種対象者

区分	ファイザー社製 (小児用)	ファイザー社製	モデルナ社製	武田社製 (ノババックス)	アストラゼネカ 社製
ワクチンの種類	m-RNA			組換えタンパク	ウイルスベクター
初回接種 (1、2回目)	2回 (21日間隔)	2回 (21日間隔)	2回 (28日間隔)	2回 (21日間隔)	2回 (28~84日間隔)
対象者	5歳以上 11歳以下	12歳以上	12歳以上	12歳以上	原則40歳以上
第一期追加接種 (3回目)	—	1回 (5ヶ月間隔)	1回 (5ヶ月間隔)	1回 (6ヶ月間隔)	—
対象者	—	12歳以上	18歳以上	18歳以上	—
第二期追加接種 (4回目)	—	1回 (5ヶ月間隔)	1回 (5ヶ月間隔)	—	—
対象者	—	・60歳以上 ・基礎疾患等 ・医療従事者等	・60歳以上 ・基礎疾患等 ・医療従事者等	—	—
接種主体	市町村	市町村	北海道(追加接種のみ) 市町村	北海道 市町村	—

※ □は、令和4年7月22日付けでの改正箇所

※ 接種主体は現在実施中のみ掲載

# 新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

## 4 3回目接種

- 3回目接種により感染予防や重症化予防の効果が回復するとされていることから、人の移動や世代間交流が活発となる時期となる夏休みやお盆シーズンに向けた接種率向上に取り組む。
- 特に、若年層の3回目接種を加速するため、若年世代をターゲットにした、ワクチン接種に関する広報を集中的に展開。知事のメッセージ動画を街頭大型ビジョンやSNSで配信するほか、既に開設した学生向けポータルサイトのリニューアルやSNSへのWEB広告を実施している。
- また、若年層に限らず、高齢者のほか、これまで、3回目接種を受けていない方への情報提供や接種希望者への対応などについて、市町村と連携し適切に取り組むとともに、北海道ワクチン接種センターも活用する。

区 分	内 容
接 種 の 目 的	新型コロナウイルス感染症に感染した場合の発症予防効果や入院予防効果を目的
接 種 対 象 者	2回目のワクチン接種を終了した12歳以上の方
接 種 の 時 期	令和4年9月30日(金)まで
使用するワクチン	・12～17歳の方はファイザー社ワクチンを使用 ・18歳以上の方はファイザーワクチン、モデルナワクチン、ノババックスワクチンを使用
接 種 間 隔	2回目接種からの間隔は、 ・ファイザーワクチン、モデルナワクチンは、5か月経過した後 ・ノババックスワクチンは、6か月経過した後

# 新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

## 5 4回目接種

- 4回目接種については、各市町村において、5月25日以降、順次接種が開始されている。  
また、7月22日から接種対象者が、医療従事者等及び高齢者施設等の従事者に拡大されたことを受け、必要なワクチンの配分調整や接種券の発行手続等の情報提供など、円滑な接種実施に向け、市町村支援に取り組む。

区 分	内 容
接 種 の 目 的	新型コロナウイルス感染症に感染した場合の <b>重症化予防</b> を目的
接 種 対 象 者	18歳以上の方 〔なお、18歳以上60歳未満の方にあつては、 ・基礎疾患を有する方 ・その他重症化リスクが高いと医師が認める方 ・医療従事者等及び高齢者施設等の従事者〕
接 種 の 時 期	令和4年9月30日(金)まで
使用するワクチン	1回目～3回目接種に用いたワクチンの種類にかかわらず、m-RNAワクチンを使用 ※4回目接種の対象者全員が接種できる量の配分を予定
接 種 間 隔	3回目接種からの間隔は、少なくとも5か月経過した後

# 新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

## 6 北海道ワクチン接種センターの接種体制①

使用ワクチン	ノバックスワクチン			モデルナワクチン	
対応接種回数	1回目	2回目	3回目	3回目	4回目
接種対象者	道内の市町村が発行した1、2回目用の接種券をお持ちの12歳以上の方		道内の市町村が発行した3回目用の接種券をお持ちの18歳以上の方	道内の市町村が発行した3回目用の接種券をお持ちの18歳以上の方	道内の市町村が発行した4回目用の接種券をお持ちの18歳以上の方(※1)
実施期間	令和4年6月5日(日)から9月25日(日)までの毎週日曜日(17日間)			令和4年7月2日(土)～8月27日(土)までの毎週土曜日と祝日(10日間) ※8月6日(土)を除く	
接種体制	1日当たり、120名 <b>(7月24日～8月28日の6日間は、240名に拡大)</b>			1日当たり、360名	
	医療従事者:北海道医師会、札幌医科大学、北海道薬剤師会、北海道看護協会等				
予約受付	WEB:道のホームページからアクセス 電話:050-3851-0181(専用コールセンター)				

※1) 18歳以上60歳未満の方にあつては、基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方並びに医療従事者等及び高齢者施設等の従事者に限る。



# 新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

## 7 北海道ワクチン接種センターの接種体制②

### <ノババックスワクチン>

○ 道直営の集団接種会場「北海道ワクチン接種センター」で、6月5日から9月25日まで毎週日曜日に、ノババックスワクチンの接種を実施。8月14日分までの予約は、予約枠を満たしている状況。

**8月21日(日)の接種分は、8月2日(火)から予約を受付。**

○ なお、市町村でのノババックスワクチンの接種は、北見市、函館市、旭川市において接種が開始され、今後、苫小牧市、釧路市、札幌市、恵庭市等で接種が開始される予定。

### <モデルナワクチン>

○ 7月から8月にかけて道内の接種対象者がピークになると見込まれる中、4回目接種の促進に向け、7月2日から8月27日までの土曜・祝日に、4回目接種を実施。現在、**8月以降の日程について、空きがある状況であり、3回目接種を希望される方も予約可能。**

また、新たに対象となった、医療従事者等や高齢者施設等の従事者についても、接種券をお持ちの方は予約可能。

